

平成 27 年度

運営に関する計画

大阪市立長吉中学校

目 次

1. 学校運営の中期目標

2. 中期目標に向けた年度目標

3. 学力の向上

(1) 授業研究を伴う校内研修の充実

(2) 各教科

・国語 ・社会 ・数学 ・理科 ・音楽 ・美術 ・技術家庭科 ・英語

(3) 自主学習習慣の確立

(4) 読書活動の充実

4. 道徳心・社会性の育成

(1) いじめ・問題行動への対応

(2) 人権を尊重する教育の推進

(3) 道徳教育の推進

(4) 特別支援教育の充実

(5) 体験的学習の充実

(6) 美化・環境整備

5. 健康・体力の保持増進

(1) 体育的活動の充実

(2) 体育科の授業の充実

(3) 健康的な生活習慣の確立

1 学校運営の中期目標

現状と課題

「低学力の克服」を本校の根本課題ととらえ、本計画中期目標の下、2年間取り組んできた。昨年度の本計画総括に記したように、順調な進捗状況であり、本年度はこれを踏まえた中期目標完遂の1年となる。

昨年度の本項目にも示したとおり、様々な背景を抱える生徒達が、学校は楽しいと感じ、その学校でいきいきと意欲的に学び、生き抜く力をつけられるように、本校の教育を進めていかねばならない。合わせて、家庭での学習習慣・生活規律が確立できるよう指導していく必要がある。下記の本校取組の柱を深化充実させることで、中期目標を達成できると確信している。

- ① 生徒自身がわからないことを自ら発見して表現し、ともに考えともに学び合う授業を創造することによって学力向上を図る。
- ② 生徒の自律を促すため、教職員が共通認識を持った組織的な生活指導を行うとともに、生徒が輝き成就感を得られる自主的・体験的活動を組織し教職員全体で支援する。

この柱に基づく取組や、教職員共通の指針に基づく日常の丁寧で粘り強い生活指導を、組織的にすすめることができてきた。また、過去2年間の成果では、平成25年度の「がんばる先生支援事業」や25・26年度の「校長経営戦略予算」加算配布分の活用効果も大きい。生徒のがんばりも「先生のがんばり」も、目に見える形としても残すことができた。今年度も両事業が活用できるよう、綿密な計画に基づき申請していきたい。

また、昨年度から道徳主担を置き道徳のカリキュラム化や研究授業にも取り組んだが、今年度から教務部内に道徳主担を位置づけ推進委員会との連携を明確にし、組織的な取組を強化する。

中期目標

【学校教育目標】

- 基礎・基本の充実を図り、自ら学ぶ態度の育成に努め、学力向上を図る。
- 他者への思いやりのこころを育て、人権尊重の精神を養う。
- 知・徳・体の調和の取れた人間形成に努める。

【視点 学力の向上】

- 基礎・基本の充実を図るため、全教員が道徳や習熟度別授業を含めた研究授業を行い、指導技術を向上させる。(マネジメント改革・学校サポート改革関連)
- H28年度全国学力・学習状況調査におけるA問題正答率を全領域で8割以上またはH24年度より10ポイント向上させる。(カリキュラム改革関連)
- 自ら学ぶ態度の育成に努め、H28年度全国学力・学習状況調査における「家で学校の宿題(授業の復習)をしていますか」の項目で「している・どちらかといえばしている」と答える生徒の割合をH24年度より向上させる。(カリキュラム改革関連)
- 読書を勧める取り組みを充実させ、H28年度全国学力・学習状況調査で「読書は好きだ」の項目で「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」と答える生徒の割合をH24年度より10ポイント向上させる。(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 他者への思いやりの心を育て、学校で認知したいじめについて解消に向けて100%対応し、H27年度暴力行為の発生件数をH24年度より減少させる。（マネジメント改革関連）
- 人権尊重の精神と社会性を育成するため、体験的な学習を取り入れた教育を全学年で実施・充実させるとともに、生徒アンケート等で「学校は楽しい」など充実感を示す解答を向上させる。（ガバナンス改革・グローバル改革関連）
- 美化活動に積極的に取り組む態度を養い、生徒向け学校アンケート「清掃活動や環境整備活動はしっかりできている」で肯定意見率を向上させる。（カリキュラム改革関連）

【視点 健康・体力の保持増進】

- 知・徳・体の調和の取れた人間形成の一環として体育的行事を充実させるとともに、部活動への参加率を向上させる。（カリキュラム改革関連）
- H27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における各学年の合計得点を、H24年度より向上させる。（ガバナンス改革関連）
- 健康で楽しい学校生活を自ら作り出す生活態度を養うとともに、定期健康診断の結果による治療勧奨を行い、未治療率を減少させる。（カリキュラム改革関連）

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【学校教育目標】

- 基礎・基本の充実を図り、自ら学ぶ態度の育成に努め、学力向上を図る。
- 他者への思いやりのこころを育て、人権尊重の精神を養う。
- 知・徳・体の調和の取れた人間形成に努める。

【視点 学力の向上】

- 全教員が年1回以上、道徳や習熟度別授業を含め、指導案を作成した研究授業を行い、生徒自身の学びによって学力を向上させることをめざして、わからないことを自ら発見して表現し、ともに考えともに学び合う授業を広げ、定着させる。（学校サポート改革・マネジメント改革関連）
- H28年度全国学力・学習状況調査での目標達成に向け、H27年度調査におけるA問題正答率を国語科「話すこと・聞くこと」および「書くこと」80%以上、「読むこと」68%以上、「言語事項」70%以上、数学科「数と式」62%以上、「図形」65%以上、「数量関係」44%以上とする。また、本年度の英語能力判定テストで各学年での平均を昨年度以上とする。（カリキュラム改革・グローバル化改革関連）
- 自ら学ぶ態度の育成に努め、H27年度全国学力・学習状況調査における「家で学校の宿題（授業の復習）をしていますか」の項目で「している・どちらかといえばしている」と答える生徒の割合を「宿題」では80%以上、「復習」で35%以上とする。（カリキュラム改革関連）
- 読書を勧める取り組みを充実させ、H27年度全国学力・学習状況調査で「読書は好きだ」の項目で「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」と答える生徒の割合を60%以上とする。（学校サポート改革・カリキュラム改革関連）

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 学校行事や生徒の主体的な活動も含め、他者への思いやりの心を育てる取組を一層充実させる。また、昨年度の学校で認知した「いじめ」への粘り強い対応の成果を生かし、「いじめ」および暴力行為の発生件数を昨年度より減少させる。（マネジメント改革関連）
- 人権尊重の精神と社会性を育成するため、体験的な学習を取り入れた教育を全学年で実施・充実させるとともに、生徒が輝き成就感を得られる自主的・体験的活動を組織し教職員全体で支援する。このことで、生徒アンケート等で「学校は楽しい」など充実感を示す解答を昨年度以上に向上させる。（ガバナンス改革・グローバル化改革関連）
- 美化活動に積極的に取り組む態度を養うとともに生徒の主体的な環境整備活動を支援し、生徒向け学校アンケート「清掃活動や環境整備活動はしっかりできている」で肯定意見率を昨年度以上に向上させる。（カリキュラム改革関連）

【視点 健康・体力の保持増進】

- 知・徳・体の調和の取れた人間形成の一環として体育的行事を充実させるとともに、部活動への参加率を一層向上させる。（カリキュラム改革関連）
- H26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査での課題に対応した指導を強化するとともに、ニュースポーツにふれる機会も設定してスポーツに親しみ、男女とも運動能力を一層向上させる。（グローバル化改革・カリキュラム改革関連）

- 学校医のアドバイスを全校生徒に伝えたり、学校保健委員会を開催したりといった方策で健康で楽しい学校生活を自ら作り出す生活態度を養うとともに、定期健康診断の結果による治療勧奨を行い、未治療率を更に減少させる。（カリキュラム改革・学校サポート改革関連）

3 本年度の自己評価結果の総括

3. 学力の向上

大阪市立長吉中学校 平成 27 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学力の向上】 ○ 全教員が年 1 回以上、道徳や習熟度別授業を含め、指導案を作成した研究授業を行い、生徒自身の学びによって学力を向上させることをめざして、わからないことを自ら発見して表現し、ともに考えともに学び合う授業を広げ、定着させる。（学校サポート改革・マネジメント改革関連） ○ H28 年度全国学力・学習状況調査での目標達成に向け、H27 年度調査における A 問題正答率を国語科「話すこと・聞くこと」および「書くこと」80%以上、「読むこと」68%以上、「言語事項」70%以上、数学科「数と式」62%以上、「図形」65%以上、「数量関係」44%以上とする。また、本年度の英語能力判定テストで各学年での平均を昨年度以上とする。（カリキュラム改革・グローバル化改革関連） ○ 自ら学ぶ態度の育成に努め、H27 年度全国学力・学習状況調査における「家で学校の宿題（授業の復習）をしていますか」の項目で「している・どちらかといえばしている」と答える生徒の割合を「宿題」では 80%以上、「復習」で 35%以上とする。（カリキュラム改革関連） ○ 読書を勧める取り組みを充実させ、H27 年度全国学力・学習状況調査で「読書は好きだ」の項目で「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」と答える生徒の割合を 60%以上とする。（学校サポート改革・カリキュラム改革関連）	

(1) 授業研究を伴う校内研修の充実

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【授業研究を伴う校内研修の充実】 全職員が指導案を作成し、相互授業参観週間を含め校内授業研究会を計画的に実施して「分かりやすい授業」を目指す。(マネジメント改革関連)	
指標 全教員が授業指導案を作成して年に1回以上校内研究授業を行うとともに相互授業参観で年2回以上「授業記録シート」を提出する。	
取組内容②【授業研究を伴う校内研修の充実】 外部講師を招聘して授業研究会を実施し、授業における生徒の「分からない」を大切に分析を授業検討会で行う。また家庭学習を含めて、授業改善のために他の研究会等に参加して情報を共有化する。(マネジメント改革関連)	
指標 外部講師を招聘した校内授業研究会を年5回行い、その後に授業検討会を生徒の「分からない」を中心に総括する。また研究通信を年6回発行し、生徒アンケートで「わかる」率を高める。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(2) 各教科

① 国語

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【国語】 プリント等を用いて、漢字・語彙力の向上を目指す。(カリキュラム改革関連) 指標 漢字学習に語彙の学習も絡めて指導し、定期テストにおける漢字分野の正解率6割以上を目指す。	
取組内容②【国語】 聞く力の育成のために、聞き取りの学習を行う。(カリキュラム改革関連) 指標 聞き取りテストを毎学期行う。	
取組内容③【国語】 読書に対する興味・関心を高め、読解能力の向上を目指す。 (カリキュラム改革関連) 指標 長期休暇を利用して、読書を取り入れた課題を設定する。	
取組内容④【国語】 書く力の向上を目指す。(カリキュラム改革関連) 指標 根拠を明確にした文章を書く学習を、学期ごとに行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

② 社会

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【 社 会 】 外部の授業研究会への参加と校内相互授業参観を通して「わかりやすい授業」をめざす。（マネジメント改革関連）		
指標 校内授業研究会をメインに学期に1回以上相互に授業を参観し、生徒の評価で「わかりやすい」という声を昨年以上にする。		
取組内容②【社会】 自作プリント教材等を作成して反復学習させることで、基礎的知識の定着を図る。 （カリキュラム改革関連）		
指標 自作の小テストを月に1回以上の頻度で行い、正答率50%以上を目指す。		
取組内容③【社会】 生徒が興味を持つ題材を提供し、課題学習などを活用して関心や意欲を高める。 （カリキュラム改革関連）		
指標 興味づけのための資料提供を行い、課題学習を学期に1回以上計画的に取り組む。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

③ 数学

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【数学】 生徒の学び合いが活発に行われ、数学が分かりやすいと実感が得られるような教材を研究する。(カリキュラム改革関連) 指標 アンケートを実施し、理解度、満足感等の項目において、肯定的な回答を 60%以上を目指し、また、全国学力・学習状況調査の「数量関係」において、44%以上の正答率を目指す。	
取組内容②【数学】 プリント等の教材を利用し、繰り返し学習によって基礎・基本的な内容の定着を図る。(カリキュラム改革関連) 指標 定期テストにおいて、観点別評価の項目の知識・理解の正答率を 60%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

④ 理科

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【理科】 実験・観察技能を習得させる。(カリキュラム改革関連)		
指標 生徒実験・観察などを年に15回以上の頻度で行う。 「事故の予防と対処法」「ガスバーナーの使い方」等のカードを設置し、実験・観察をより安全に行う意識を高める。		
取組内容②【理科】 視聴覚教材の活用を図る。(カリキュラム改革関連)		
指標 学期に2回以上の頻度で、視聴覚教材を取り入れた授業を行う。 標本や模型・写真などを活用した授業に取り組む。		
取組内容③【理科】 基礎学力定着のために、反復練習を行う。(カリキュラム改革関連)		
指標 学力診断テストの正答率を46%以上、定期テストの正答率56%以上。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

⑤ 音楽

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【音楽】 音楽への関心・意欲・態度を向上させる。意欲を高め、表現や鑑賞に積極的に取り組ませる。(カリキュラム改革関連)	
指標 忘れ物を昨年度より減らす。また音楽頑張りカードを毎時間書き、授業のねらい、目標を記入して明確にし、自己評価も書いて振り返りをさせる。提出物の提出率を総合で91パーセント以上にする。	
取組内容②【音楽】 音楽表現の創意工夫・技能を向上させる。(カリキュラム改革関連)	
指標 音楽表現のための基礎知識の定着を図り、表現に活かす。そして歌唱・器楽の技能を伸ばす。実技テスト合格率を参加者の91パーセント以上にする。実技の課題は怪我などの身体的事情に配慮しながら進める。	
取組内容③【音楽】 鑑賞の能力を向上させる。(カリキュラム改革関連)	
指標 より豊かに鑑賞曲の素晴らしさを味わうために、鑑賞曲に関する知識を身につけさせる。鑑賞曲の紹介文を書き、発表報告の場をもつ。鑑賞に関する提出物の提出率を参加者の91パーセント以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

⑥ 美術

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【美術】 昨年度は、表現力の向上を目指し、スケッチ、デッサンの学習を行った。今回、さらに感性や造形感覚などを働かせ、表現の技能を身に付け、見る力を向上させる。 (カリキュラム改革関連) 指標 月に1度以上授業内にクロッキー学習を行う。	
取組内容②【美術】 作品に対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして美意識を高め、幅広く造形的なよさや美しさを味わわせる。(カリキュラム改革関連) 指標 制作した作品を鑑賞し批評し合う時間を学期に1度以上行う。	
取組内容③【美術】 美術カードのより良い充実を目指し、自己評価を行うと共に計画的に作品制作を行わせる。(カリキュラム改革関連) 指標 美術カードに作品についての次回の目標を毎回立てさせ、自己評価を行った後に次の授業初めには作品制作の前に目標を立てたことの確認を行い、作品制作にあたらせる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

⑦ 技術・家庭

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【技術家庭科】 基礎的・基本的な授業内容の定着を図る。（カリキュラム改革関連） 指標 定期テスト以外に定期的に小テストを行う。 ノートやプリントなどの点検を月に1回以上実施し、助言を行う。	
取組内容②【技術家庭科】 実践的・体験的な活動を多く取り入れる。（カリキュラム改革関連） 指標 作品の完成率を91%以上にする。授業欠席者についても考え、対応し、作品完成を目指して補習を行う。	
取組内容③【技術家庭科】 グループ活動を多く設定し、生徒同士の意見交流の時間を多く設ける。 (カリキュラム改革関連) 指標 実習時間も含め月2回以上グループ活動を行い、ワークシートやノートを記入させ点検する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

⑧ 英語

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【英語】 单元ごとに文法テスト、単語テスト、音読テストを実施し、基礎基本的な内容の定着を図る。(カリキュラム改革・グローバル化改革関連) 指標 小テストの回数を昨年度以上のペースでおこなう。	
取組内容②【英語】 身につけた基礎学力の活用をするための取り組みをおこなう。 (カリキュラム改革関連) 指標 ペアワークを積極的に取り入れ、C-NET との会話学習を含むグループ学習を月に1回以上おこない、スピーキングテスト等で英文構成や語彙等の能力を向上させる。	
取組内容③【英語】 放課後の自主学習を実施し、個に応じた学習活動を支援する。 (カリキュラム改革・学校サポート改革関連) 指標 英検対策の資料・問題集を各学級に提供し、生徒の興味関心を促し、放課後の自主学習の取り組みを年間5回おこなう。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(3) 自主学習習慣の確立

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【自主学習習慣の確立】 授業の予習・復習などに活用できる学習教材を提供する。(カリキュラム改革関連) 指標 「家で学校の宿題(授業の復習)をしていますか」の項目で「している・どちらかといえばしている」と答える生徒の割合を昨年度より向上させる。	
取組内容②【自主学習習慣の確立】 放課後に自主学習を支援する場を計画的に提供し、体制を組んで学習活動を支援する。(カリキュラム改革・学校サポート改革関連) 指標 放課後の学習会を昨年度以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(4) 読書活動の充実

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【読書活動の充実】 図書室の蔵書整備を行う。(マネジメント改革関連)		
指標 蔵書をデータ化し、必要とされる図書の充実と整理を図る。		
取組内容②【読書活動の充実】 図書室の貸し出し冊数を増やす。(カリキュラム改革関連)		
指標 ポスター等の広報活動を行い、一人あたりの図書の貸し出し冊数が昨年度以上になるように目指す。		
取組内容③【読書活動の充実】 読書活動への関心を高める。(カリキュラム改革関連)		
指標 事前に読み聞かせの機会を設け、学期ごとに一回以上行う。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

4. 道徳心・社会性の育成

年度目標	達成状況
【道徳心・社会性の育成】 ○ 学校行事や生徒の主体的な活動も含め、他者への思いやりの心を育てる取組を一層充実させる。また、昨年度の学校で認知した「いじめ」への粘り強い対応の成果を生かし、「いじめ」および暴力行為の発生件数を昨年度より減少させる。（マネジメント改革関連） ○ 人権尊重の精神と社会性を育成するため、体験的な学習を取り入れた教育を全学年で実施・充実させるとともに、生徒が輝き成就感を得られる自主的・体験的活動を組織し教職員全体で支援する。このことで、生徒アンケート等で「学校は楽しい」など充実感を示す解答を昨年度以上に向上させる。（ガバナンス改革・グローバル化改革関連） ○ 美化活動に積極的に取り組む態度を養うとともに生徒の主体的な環境整備活動を支援し、生徒向け学校アンケート「清掃活動や環境整備活動はしっかりできている」で肯定意見率を昨年度以上に向上させる。（カリキュラム改革関連）	

(1) いじめ・問題行動への対応

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【いじめ・問題行動への対応】 担任と生徒との信頼関係を深め、生徒理解に努める。（カリキュラム改革関連） 指標 春、夏、冬と長期休暇後の3回、被害調査を行う。年2回以上は教育相談を行う。また、いじめ調査においては、年5回以上行う。	
取組内容②【問題行動への対応】 子ども自身で問題解決し、自己選択できるよう健全育成教育を行う。（カリキュラム改革関連） 指標 各学年、発達段階に応じて年間2回以上、全校生徒では年間2回以上、健全育成教育を行う。	
取組内容③【学校・家庭・地域の連携の推進】 保護者や地域、関係諸機関と連携して、協力して指導していく。（ガバナンス改革関連） 指標 校務支援に記入し、月に1回生指連絡を行い、全教員が生徒の状況を把握できるようにする。また、年3回以上、学校評価アンケートを行い、その結果をもとに各学期末には1回以上いじめ防止委員会を行っていく。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(2) 人権を尊重する教育の推進

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【人権尊重の教育の推進】 人権について考える機会を増やし、生徒とのかかわりを深める取組を多く計画・指導する。（カリキュラム改革関連） 指標 学年・委員会などとの連携をはかった取り組みを行い、各学年学期に1回以上計画的に人権教育を行う。 また、アンケートや感想文等により生徒の意識の把握に努める。	
取組内容②【人権の尊重の教育の推進】 道徳教育との連携し、様々な取り組みの中から本校にあった人権教育を考え、構築する。教職員の人権感覚や意欲・実践力を高める。（カリキュラム改革関連） 指標 校外での研修や交流会に積極的に年2回以上参加し、人権意識の向上をはかる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(3) 道徳教育の推進

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【道徳教育の推進】 社会性の育成を意識した仲間づくり（校外学習・文化祭等）を行い、参加型・体験型の学習を取り入れたカリキュラムを実施する。 （カリキュラム改革・ガバナンス改革関連）	
指標 学年・委員会などとの連携を図った取り組みを行い、各学年で学期に1回以上アンケートや感想文等により生徒の意識の把握に努める。	
取組内容②【道徳教育の推進】 社会の一員であることの認識をさせるため、奉仕活動を中心とした、地域交流に取り組む。（カリキュラム改革関連）	
指標 ボランティア清掃（年1回以上）、職場体験、様々な講演会等を各学年で行う。	
取組内容③【道徳教育の推進】 道徳教材（副読本等）を活用した道徳教育の充実を図るとともに、集会等を通して道徳心や社会性を育成する。（マネジメント改革関連）	
指標 ・指導内容を精選・工夫し、計画的に道徳教育を実施する。 ・全校集会や学年集会を定期的に行い、機に応じた指導を行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(4) 特別支援教育の充実

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【特別支援教育の充実】 一人ひとりの実態に応じた指導・支援を行う。(カリキュラム改革関連) 指標 個別の目標については、保護者や担任も含めた複数の目で協議しながら設定する。	
取組内容② 【特別支援教育の充実】 特別支援教育の実践においては、全教職員で共通理解して行う。 (マネジメント改革関連) 指標 特別支援の観点から対応に共通理解が必要な生徒については、学年会や職員会議の後の連絡会で取り上げ、全教職員が理解した上で日々の指導に当たる。	
取組内容③ 【特別支援教育の充実】 保護者や関係諸機関との連携を取りながら、より適切な支援策を検討・実施する。 (ガバナンス改革関連) 指標 個々の生徒の学校での様子をていねいに保護者に伝える。 保護者や関係諸機関と情報交換した内容は記録に残し、必要と思われることは職員会議や学年会などで報告する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(5) 体験的学習の充実

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【体験的活動の充実】 生徒会活動を通して、学校より良くするための活動の場を作り、生徒一人一人の自主性、協調性を高める。 ・生徒会活動において各機関と連携し、生徒が活動できる場を広げていく。 ・環境整備と作物を育て収穫する共同体験学習を合わせて目標とし、より多くの生徒が関わられるよう農園活動と「収穫祭」を実施する。（カリキュラム改革関連） 指標 生徒向け学校評価アンケートの「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」「環境整備・美化活動にしっかり取り組んでいる」の項目で肯定的回答を昨年度以上にする。	
取組内容②【体験的活動の充実】 文化祭の一環として実施している芸術鑑賞において演劇鑑賞を体験し、芸術鑑賞に親しみ、豊かな情操を育む。（カリキュラム改革関連） 指標 生徒向け学校評価アンケートの「学校での生活は楽しい」「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の項目で肯定的回答を昨年度以上にする。	
取組内容③【体験的活動の充実】 各学年で次のように体験的学習に取り組み、人権尊重の精神と社会性を育成する。 ・ 1年 一泊移住・校外学習・百人一首大会・球技大会・地域清掃を実施し社会性や自主性を育成する。 ・ 2年 校外学習・百人一首大会・球技大会を実施し、社会性や自主性を向上させる。 ・ 3年 修学旅行（民家泊を含む）・球技大会実施し、社会性や集団行動で考える力を向上させる。（カリキュラム改革関連） 指標 生徒向け学校評価アンケートの「学校での生活は楽しい」「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の項目で肯定的回答を昨年度と同等以上にする。	
取組内容④【進路指導】 体験的学習を取り入れたキャリア教育を次のように推進する。 1年 職業講話を実施し、自己の個性や生き方、将来の進路を見つめ、「働くこと」への関心・意欲の高揚と学習意欲向上を図る。 2年 地域での職場体験学習を通して、勤労観・職業観の形成を図ると共に、規範意識やコミュニケーション能力などを習得させ、豊かな人間性、地域の方々とふれあう心を育成する。また特色ある学科や学校の資料提供を行い、進路選択のための情報を得る。 3年 高校見学会、説明会を通して、自ら進んで情報収集する能力を育てる。面接練習を通して、社会人としての自覚や態度を育てる。（カリキュラム改革関連）	

指標	
生徒向け学校評価アンケートの「学校での生活は楽しい」「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の項目で肯定的回答を昨年度以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(6) 美化・環境整備

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【美化・環境整備】 自ら進んで校内美化に取り組む態度を養う。（カリキュラム改革関連） 指標 日常の清掃活動が円滑に行われるように指導を徹底し、年間で5回の大掃除を行う。うち一回は、運動場や学校周辺などの日頃掃除できていない場所の清掃も組み入れる。	
取組内容②【美化・環境整備】 自分たちの身の回りの物を大切にする態度を養う。（カリキュラム改革関連） 指標 学期ごとに破損チェックを行い、校内の施設が整備されている状態を保つ。 環境委員会を中心として、教室内外の備品管理に対する意識を高める。	
取組内容③【美化・環境整備】 学校内の緑化を推進する。（カリキュラム改革関連） 指標 環境委員会が中心となって、正門前の花の世話（水やり・花がらつみ など）を行い、花壇周辺の整備・管理する。 植物について興味関心を持ってもらえるように広報活動をする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

5. 健康・体力の保持増進

年度目標	達成 状況
【健康・体力の保持増進】 【視点 健康・体力の保持増進】 ○ 知・徳・体の調和の取れた人間形成の一環として体育的行事を充実させるとともに、部活動への参加率を一層向上させる。（カリキュラム改革関連） ○ H26 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査での課題に対応した指導を強化するとともに、ニュースポーツにふれる機会も設定してスポーツに親しみ、男女とも運動能力を一層向上させる。（グローバル化改革・カリキュラム改革関連） ○ 学校医のアドバイスを全校生徒に伝えたり、学校保健委員会を開催したりといった方策で健康で楽しい学校生活を自ら作り出す生活態度を養うとともに、定期健康診断の結果による治療勧奨を行い、未治療率を更に減少させる。（カリキュラム改革・学校サポート改革関連）	

(1) 体育的活動の充実

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容① 【体育的活動の充実】 体育大会の運営を、より安全で円滑なものとする。 ・体育大会で係生徒の役割を明確にし、個々の取り組みにおいて充実感の向上をはかる。 ・現在行っている熱中症対策のさらなる向上を目指す。（カリキュラム改革関連）	
指標 ・生徒向け学校評価アンケートの「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の項目で肯定的回答率の80%以上を目指す。 ・会場の見直しを行い、生徒が水分補給しやすい環境の整備を行う。	
取組内容② 【体育的活動の充実】 授業で講師として外部指導者を招へいし、ニュースポーツを体験的に学んで運動能力向上や体力増進に役立てるとともに、体育的行事を昨年以上に充実させる。（学校サポート改革関連）	
指標 体育的行事ごとにアンケートを実施し肯定的意見80%を目指す。 各スポーツを継続的に行い、スポーツへのさらなる理解の向上を図る。	
取組内容③ 【部活動参加率の向上】 新入生が部活動の活動内容について理解し、参加率の向上をはかる。（カリキュラム改革関連） 」	

指標 ・小中連携で部活動交流会を1回以上行う。 ・仮入部期間を1週間設け、各部活の活動内容を理解し意欲の向上をはかる。 ・学校全体で生徒の運動部への参加率を50%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(2) 体育科の授業の充実

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【体育科の授業の充実】 体育授業において、チームティーチング、少人数指導を充実させる。 (カリキュラム改革関連) 指標 全学年の授業をチームティーチングや少人数指導を行い、昨年度以上に充実させる。	
取組内容② 【体力向上への支援】 体力向上のために日々の活動量を増やし、昨年度新体力テストで全国平均以下であった種目の数値の向上、全体平均の向上をめざす。(カリキュラム改革関連) 指標 新体力テストの結果が、前年度以上の数値となるよう、チームティーチングや少人数指導を行うことで日々の活動量を増やし、体力の向上を図る。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(3) 健康な生活習慣の確立

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【健康に関する現代的課題への対応】 来室統計をもとに、実態に即した情報を発信し、連携を密にして支援の充実を図る。 (ガバナンス改革関連)	
指標 毎月1回来室統計を発行し、早期の課題把握・定期的な情報共有を行い、連携して支援につなげる。	
取組内容② 【健康な生活習慣の確立】 自身の健康に関心を持てるよう、疾病・けが予防の啓発活動を行う。 (カリキュラム改革関連)	
指標 掲示物やほけんだよりをより身近なものにするために、作成に環境委員が定期的に参加する。	
取組内容③ 【健康な生活習慣の確立】 個別の健康診断結果一覧を発行し、疾病の予防と早期治療を促す。 (ガバナンス改革関連)	
指標 治療勧告書を学期に1回以上発行するとともに、学校保健委員会を実施し学校医とも連携しながら、未治療率を昨年度より減少させる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	